

華麗なる雅楽・舞楽の世界

宮内庁所蔵品を多数、特別公開

雅楽とは舞楽、管絃、歌物(催馬楽・朗詠)、国風歌舞などの総称です。早くは5世紀頃に大陸や朝鮮半島から伝来したものが日本在来の歌舞と融合し、奈良時代には雅楽寮が設置されて国家の公式行事に演奏されるようになりました。平安時代になると、宮中儀式楽としてだけでなく貴族たちが楽しむ宮廷音楽としても広がりを見せました。また、四天王寺や春日大社などの社寺では現在でも儀式楽として受け継がれているほか、極楽浄土を思わせることから迎講などの法会において重要な役割を果たしています。

天皇陛下の御即位を記念する本展では、日本の伝統音楽・芸能である雅楽の歴史と現在を、宮内庁が所蔵する貴重な品々を中心にご紹介します。華やかな舞楽装束、装飾された楽器や楽譜、雅楽を主題に制作された絵画や彫刻、工芸作品など約120点によって構成される「雅楽の美」の世界をご堪能ください。



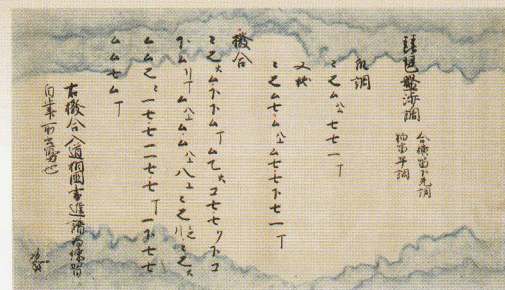
竹内久一
《陵王面》
明治44(1911)年
東京藝術大学
【通期展示】



海野勝珉《蘭陵王置物》
明治23(1890)年 宮内庁三の丸尚蔵館
【通期展示】



藤原貞幹(模)《信西古楽図》(部分) 宝暦5(1755)年 東京藝術大学【通期展示 場面替あり】



《下無調撥合》(部分)
鎌倉時代 14世紀 宮内庁書陵部【前期展示】



狩野永岳《散手・貴徳図衝立》
江戸時代 19世紀 宮内庁三の丸尚蔵館【右:散手図(前期展示)、左:貴徳図(後期展示)】



《萬歳楽常装束》(部分) 宮内庁式部職楽部【通期展示】

演奏会

(事前申込不要)

日時 = 4月11日(土)、5月9日(土) 11:30、13:30、15:30(各回 約30分)

会場 = 展示会場内特設ステージ 奏者 = 中村仁美(箏・篳・ひちりき)

※会期中、東京藝術大学の学生による演奏を予定しています。詳しくはホームページでお知らせします。

観覧料(税込)	一般	高校・大学生
当日	1,600円	1,000円
前売	1,400円	800円
団体	1,300円	700円

東京藝術大学大学美術館

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

お問い合わせ ☎03-5777-8600 (ハローダイヤル) ホームページ / <https://www.geidai.ac.jp/museum/>

※中学生以下無料 ※団体は20名以上 ※団体観覧者20名につき1名の引率者は無料
※障がい者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) ※前売券は4月3日まで販売
【チケット取り扱い】東京藝術大学大学美術館ホームページ、チケットぴあ[Pコード: 685-126]、ローソンチケット[Lコード: 31482]、セブンチケット[セブンコード: 081-867]、イーブラスほか主要プレイガイド ※手数料がかかる場合があります。

交通案内! JR上野駅(公園口)、東京メトロ千代田線根津駅(1番出口)より徒歩10分
京成上野駅(正面口)、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅(7番出口)より徒歩15分 *当館には駐車場はございません

